

イギリスの職業会計士団体の現況

百合野 正 博

目 次

- I はじめに
- II イギリスの会計士団体の概略
- III 合格体験談
- IV むすびにかえて

I はじめに

第1表が示しているように、主要国の会計士（わが国の公認会計士に相当するか、あるいは呼称は異なるけれども実質的に公認会計士と同様の社会的な役割を担っている職業会計士）は、その人数から大きく二つのグループに分けることができる。その一つは、絶対的にも相対的にも会計士の数が多い国々、すなわちイギリスやアメリカが構成するグループであり、もう一つは、それとは逆に会計士の数が少ない国々、すなわちドイツやフランスが構成するグループである。

ところで、わが国はどちらのグループに属するのであろうか。わが国の公認会計士の数は約1万人である。この数はイギリスやアメリカと比較して桁違いに少ないので、人数から分類すると、わが国が、イギリスやアメリカと同じグループではなく、ドイツやフランスと同じグループに入ることは明白であろう。

ところが、現実には、わが国の公認会計士監査制度がアメリカの制度を見習って創設されたものであるという事実から、我々は、わが国の公認会計士監査制度の内容もアメリカと同一か、あるいは非常によく似通っていると看做すとともに、そのことに關してほとんど何の疑問をも挟むことなく今日に至っている。さらに、そのアメリカに会計士監査を伝えたのがイギリスの会計士であったところから、監査論のテキストの多くが、会計士監査の歴史的展開を述べる際に、イギリスにおける産業革命時の準

第1表 各国の職業会計士団体

| 国名 | 団体名 | 創立年 ^a | 会員数 ^b |
|-------------------|--|------------------|------------------|
| アメリカ合衆国 | アメリカ公認会計士協会 (American Institute of Certified Public Accountants) | 1887 | 264 |
| カナダ | カナダ勅許会計士協会 (Canadian Institute of Chartered Accountants) | 1902(1880) | 44 |
| イギリスおよび アイルランド | イングランド・ウェールズ勅許 会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in England and Wales) | 1880(1870) | 86 |
| | 公認会計士勅許協会 (Chartered Association of Certified Accountants) | 1939(1891) | 31 |
| | スコットランド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants of Scotland) | 1951(1854) | 12 |
| | アイルランド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in Ireland) | 1888 | 6 |
| オーストラリア | オーストラリア会計士協会 (Australian Society of Accountants) | 1952(1887) | 55 |
| | オーストラリア勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in Australia) | 1928(1886) | 17 |
| ニュージーランド | ニュージーランド会計士協会 (New Zealand Society of Accountants) | 1909(1894) | 15 |
| オランダ | オランダ会計士協会 (Nederlands Instituut van Registeraccountants) | 1895 | 6 |
| フランス | フランス会計士協会 (Ordre des Experts Comptables et des Comptables Agrèès) | 1942 | 11 |
| ドイツ | ドイツ会計士協会 (Institut der Wirtschaftsprüfer) | 1932 | 5 |
| 日本 | 日本公認会計士協会 (Japanese Institute of Certified Public Accountants) | 1948 | 10 |

註：a カッコ内は最も古い母体団体の創立年。

b 1987/88年の概数。単位千人。

出典：C. Nobes, *Accountancy Explained*, Penguin Books, 1990, p.119.

則主義会社法の制定とその際の監査役に関する規定の導入をその起点とするところから説明を始め、その後のアメリカでの展開を跡付けた後に、わが国の制度を説明するという過程を踏んでいるのである。

しかしながら、たとえわが国の会計士監査制度の成立の経緯を熟知しているとしても、わが国の会計士の数がイギリスやアメリカとは桁違いに少ないという事実を知る時、そこに一つの素朴な疑問が生ずることとなる。それは、イギリスやアメリカ型の会計士監査制度を機能させることと会計士の人数に何らかの相関関係がありはしないだろうか、すなわち、会計士の人数の多い国々の会計士監査制度を十分に機能させるためには現実にそれらの国々で見られるような多数の会計士が必要とされるのではないだろうか、ということである。言い換えれば、わが国のような少数の会計士でイギリスやアメリカ型の会計士監査制度を維持することがはたして可能なのだろうか、という疑問が生ずるのである。

この疑問を解き明かすための第一歩として、まず本稿においては、わが国の会計士監査制度のルーツと考えられるとともに、人口比では群を抜いて多数の会計士を抱え、現在でもなお毎年大卒の10%が職業会計士になるための訓練を受けるというイギリスの現在の主要な職業会計士団体を紹介して、イギリスの会計士の特徴の一端を考察したい。

II イギリスの会計士団体の概略

イギリスにはおよそ1ダースの会計士協会があり、会計士の人数も10数万人にのぼっているが、それらは、大まかに次の三つのグループに分類することができる。

第1グループは「会社法の要求する株式会社の監査を担当することができる」という条件でくくれる4団体である。それらは、第1表に含まれている三つの勅許会計士協会と公認会計士勅許協会である。

第2グループは、主として財務会計や監査以外の領域をその専門としていることもあって株式会社の監査を担当することは認められていないが、協会そのものは勅許状を受けているものである。これには管理会計士勅許協会と財政会計士勅許協会が含まれる。

これら二つのグループの6会計士協会は、数ある会計士協会の中でも有力な会計士

協会と考えられていて、イギリスの会計士の歴史的展開を説明する際には同等の扱いを受けている（第2表参照）。しかしながら、イギリスには、これら以外に、中小規模で勅許状も受けていないいくつかの団体が存在している。それらを第3グループとしよう。

第2表 イギリスにおける職業会計士団体の歴史

| | |
|----------------|---|
| 1853年 | エジンバラに会計士協会 (Society of Accountants) が生まれ、1854年に勅許状を受ける。 グラスゴーに会計士・保険数理士協会 (Institute of Accountants and Actuaries) が生まれ、1855年に勅許状を受ける。 |
| 1866年 | アバディーンに会計士協会 (Society of Accountants) が生まれ、1867年に勅許状を受ける。 |
| 1880年 | イングランド・ウェールズ勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in England and Wales; ICAEW) 結成。(もっとも早い母体は1870年に生まれる) |
| 1885年 | 1957年に ICAEW と合併することになる会計士監査人協会 (Society of Incorporated Accountants and Auditors) 結成。 後に財政会計士勅許協会 (Chartered Institute of Public Finance and Accountancy; CIPFA) と改称することになる会社経理会計士協会 (Corporate Treasurers' and Accountants' Institute) 結成。 |
| 1888年 | アイルランド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants in Ireland; ICAI) が勅許状を受ける。 |
| 1891～ 1904年 | 後に公認会計士勅許協会 (Chartered Association of Certified Accountants: ACCA) となるいくつかの協会結成。 |
| 1919年 | 後に管理会計士勅許協会 (Chartered Institute of Management Accountants: CIMA) と改称する原価工場会計士協会 (Institute of Costs and Works Accountants) 結成。 |
| 1939年 | 後に公認会計士勅許協会と改称する公認会計士協会 (Association of Certified and Corporate Accountants: ACCA) が合併により成立。 |
| 1951年 | エジンバラ、グラスゴー、アバディーンの三つの会計士協会が合併してスコットランド勅許会計士協会 (Institute of Chartered Accountants of Scotland: ICAS) を結成。 |
| 1957年 | 会計士監査人協会が三つの勅許会計士協会と合併。 |

出典 Nobes, *op. cit.*, p.107 他をベースに作成。

ここでは、わが国でも比較的良好に知られている勅許会計士協会だけでなく、3グループに分けた全部で12の会計士協会について、会計士志望者のためのガイドブックと各会計士協会の発行したパンフレットをもとにしてその概略を紹介してみよう。

(1) 第1グループ

① イングランド・ウェールズ勅許会計士協会 (The Institute of Chartered Accountants in England and Wales)

イングランド・ウェールズ勅許会計士協会(略称 ICAEW)はイギリス最大の会計士協会で、会計事務所と産業界で合計95,000人(1991年現在。1990年中に3,922人が新たに会員となった)の会員が働いている。勅許会計士の仕事は多様であるが、主な領域は、財務管理、会計、監査、税務である。すなわち、たんに財務諸表の作成だけではなく、実際のビジネス上の諸問題に専門的スキルを応用することをその業務としている。しかし、中でもっとも重要なサービスの一つは、公開会社と私会社とを問わず、すべての登記会社が会社法によって義務づけられている年次監査を行うことである。勅許会計士はこの監査の3/4を担当している。²

わが国の公認会計士との比較で目につくとともに興味のあることは、ビジネスのトップの地位の多くが勅許会計士によって占められているということである。(第1図参照)。³

勅許会計士になるには一つの道しかない。それは、協会が会計士養成機関として認定した会計事務所と訓練契約を結んでそれを履行するとともに、協会の試験に合格することである。訓練契約の条件は、少なくとも年間20週の有給研修休暇で試験の準備をするということである。原則として、専攻の如何に係わらず大学を卒業するか、基礎コースに合格するか、Higher National Diploma もしくは Higher National Certificate を取得していることが必要である。しかしながら、現在では志願者の90%が大学卒業生である。⁴

仕事の内容は事務所によって異なるが、訓練契約を協会に登録することが必要で、

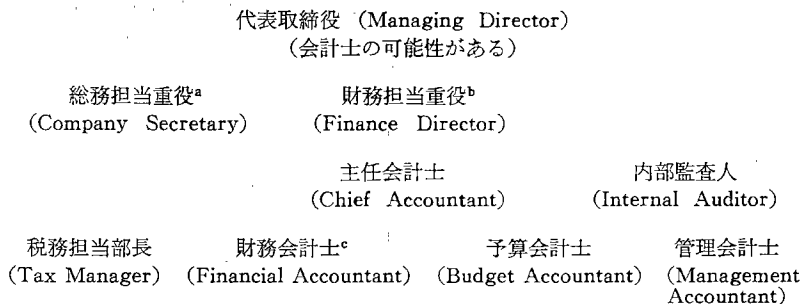
1 S. Jackson ed., *Chartered Accountants* 1992, London, 1991, p. 3.

2 F. Taylor, *Careers in Accountancy*, London, 1990, p. 22.

3 C. Nobes, *Accountancy Explained*, Penguin Books, 1990, p. 31.

4 Taylor, *op. cit.*, pp. 22-23.

第1図 イギリスの大規模株式会社における会計士の組織の一例



- a 会社によっては、総務担当重役は財務担当重役と同一人物か、もしくは彼のために働く。(通常、会社の法律に関する業務を担当している。)
- b たとえ代表取締役を含むその他の重役が会計士だとしても、一番経験のある会計士がこの地位につく。
- c 財務会計士と管理会計士と同じレベルの会計士は何人もいて彼らのスタッフとしての仕事をしているが、これらの二つが最大の課を持っている。

出典 Nobes, *op. cit.*, p.31.

志願者にその計画表を渡さなければならない。そして、それには種類の異なる会社で監査、税務、会計を行うように割り当てがなされなければならないし、2年もたつとフィールドワークの責任を負うようになる分野も生れ、さらに、経験の浅い志願者の仕事の監督をする可能性もある⁵とのことなので、わが国の公認会計士試験第2次試験の準備とはずいぶん様相が異なっている。また、その間の訓練記録は重要で、会計事務所は志願者の記録を6カ月ごとに検閲しなければならないし、会員登録の申請時にはそれを協会に提出しなければならない。

②公認会計士勅許協会 (The Chartered Association of Certified Accountants)

公認会計士勅許協会(略称 ACCA)は、イギリスの会社法で認められている会計士協会としては二番目に大きな団体である。その特長の一つは、創立当時に存在していた、勅許会計士のもとで謝礼を払って年季奉行するというシステムとは異なる手段で会計士となる道を開いたことにある。

また、公認会計士は、協会員となった後に、会計実務界、産業界、あるいは公務員

5 *Ibid.*, p.23.

第3表 6 会計士協会の登録学生数

| | 総登録学生数 | 1987年度登録数 | 1987年度登録者中海外居住者(%) |
|-------|------------|-----------|--------------------|
| ICAEW | 16,785 | 6,287 | 0 |
| ACCA | 75,880 | 14,346 | 57 |
| CIMA | 42,159 | 8,676 | 56 |
| ICAS | 1,398 | 436 | 0 |
| CIPFA | 2,725 | 821 | 0 |
| ICAI | 2,000 (概数) | 560 | 0 |

出典 Nobes, *op. cit.*, p. 171.

として訓練を受けることとなるが、このことによって、訓練期間中は会計事務所を移ることのできない勅許会計士と比較して、経験の範囲が幅広くなるという特長を持つことになる。⁶試験科目も、一般的な会計関係科目に加えて、情報システムや意思決定プロセスといった経営プロセス全般と関連した科目をもカバーしている。そのため、ACCAの資格は、会計専門職として幅広い職を提供するだけでなく、経営者やビジネス・コンサルタントの職につくための手段にもなっているということである。そのことも作用しているのか、イギリス以外の国々に住んでいる会員や登録者の比率も高い⁷(第3表参照)。

試験に加えて、協会の認定する訓練を3年以上受けなければならない。雇業者向けのトレーニング・ガイドによると、訓練には、経営者としての責任ある地位につくための心構えや上級会計責任者の地位につくために必要な訓練を次第に身につけさせるような、会計的職能に関する幅広い実務経験が含まれていなければならない。志願者の進捗状況を観察する上級指導員を置かなければならないことや、志願者が全員自分の記録をつけなければならないことは言うまでもなく、ここでも、実務経験を通して会計士を作り出しているということがうかがえる。

③スコットランド勅許会計士協会 (The Institute of Chartered Accountants of Scotland)

我々の常識では、三つの勅許会計士協会はたんに各地域を統括するだけの団体であ

6 *Ibid.*, pp. 14-15.

7 Nobes, *op. cit.*, p. 171.

って、内容的にはすべて同じであるように考えがちであるが、実はそうではない。「スコットランド勅許会計士協会（略称 ICAS）はスコットランド人の勅許会計士のために設立されたが、国籍の制限はない⁸」という表現がそれを端的に示しているように、イギリスが、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの4つの別々の国によって構成されている「連合王国」であるという事実が、会計士協会にも反映されていて、大まかには同内容であるものの、各協会がそれぞれ売り物を用意している。

ICAS について言えば、たんに試験を実施するだけでなく志願者を協会自らが教育しているところが売り物となっている。すべての志願者は、協会が行うブロック・リリースの授業に協会の教育センターのうちのどこかで出席しなければならない。訓練は3年間、志願者は大卒でなければならない。訓練期間中に志願者が受験しなければならない試験の数は、彼らが大学で取得した学士号の種類によって異なる。（スコットランドの大学制度はイングランドとは異なっている。例えばイングランドの大学の修業年限が3年であるのに対してスコットランドは4年である。そして、ICAS はその大学教育を重要視している。）協会の「正式認定」学士号を取得している志願者は2段階の専門能力試験を受けるだけであるが、「有資格」大卒生は訓練の1年目に専門コースと試験を受けることになる。ただし、大学で取得した科目が認定されれば試験免除を受けることができる。

すべての志願者が勅許会計士事務所の中の公認訓練事務所と訓練契約を結び、その期間中に、様々な会計分野の実務訓練を受け、その会計事務所のクライアントとの仕事を通して、多様な経験を積むことは、上記の二つの会計士協会と同じである。

④アイルランド勅許会計士協会（The Institute of Chartered Accountants in Ireland）

アイルランド勅許会計士協会（略称 ICAI）は、イギリスの北アイルランドとアイルランド共和国の両方の勅許会計士の協会として活動している。

勅許会計士は公共会計実務、コンピュータ・システム、経営コンサルタント業務、商工業界や公共機関における財務会計等の仕事についているが、若手会計士の多くは、今では金融サービスの分野で成功を収めている。

8 Taylor, *op. cit.*, p. 28.

経営コンサルタントとなったり、大企業の取締役会のメンバー入る会員が多いという事は、上記の各会計士協会と共通している特長である。

アイルランドで勅許会計士試験を受けるためには、公認コースを受講する必要がある。ICAI も、最近、教育システムを大幅に変更し、会計教育センター (Centre of Accounting Studies) を創設した。これは志願者に対して、専門家になるためのあらゆる教育を行う。アイルランドのいくつかの大学で協会の登録学生となる意志を持っている人達に大学院のディプロマ課程を設立し、コンピュータに関する実用的知識をすべての志願者に授けるための「実践的」計画を提供し、商工業界の組織で勅許会計士になる人達にはそのための訓練を受ける要綱の開発等も⁹行っているのである。

訓練のためのガイドラインによれば、その内容は上記の各団体と同内容である。

(2) 第2グループ

⑤管理会計士勅許協会 (The Chartered Institute of Management Accountants)

管理会計士勅許協会(略称 CIMA)は ACMA もしくは FCMA という肩書きをつけた29,500人の会員を擁しており、¹その肩書きは製造業、小売業、サービス組織、コンピュータ産業等、あらゆる職種で目にすることができる。管理会計士は事業経営者に情報を提供する「インサイダー」であるという点で勅許会計士とは異なっている。彼らの提供する数字は企業内でストレートに使われるのである。CIMA が明示している10大職能には、長期計画の評価、²予算の編成、キャッシュフローの見積もり、操業基準の作成、生産性の測定、個別製品の原価計算、価格や生産水準の決定に役立つサービス、リスク分析やセンシティブティーを用いた資本投資の調査等が含まれているが、この特長が、ACCA に次いで多くの登録学生を擁しているという人気の高さに反映されている (第3表参照)。

ここでも、志願者は、協会の資格試験に合格することに加えて、最低3年間の原価計算と管理会計の実務経験を積まなければならない。志願者が CIMA の規定している実務経験の領域がカバーされていることを示す業務日誌(訓練記録)を提出しなければならないことは、上記の各会計士協会と同一である。シラバスは情報テクノロジーの傾向を強く持った幅広いビジネスに関する科目からなっている。それには、経営学、戦略的計画、マーケティングに加えて、原価計算、財務会計、会社法、法人税、

9 Ibid., pp. 24-26.

意思決定、監督および監査、財務管理が含まれている。¹⁰

⑥財政会計士勅許協会 (The Chartered Institute of Public Finance and Accountancy)

財政会計士勅許協会（略称 CIPFA）は、その会員が公共サービス部門で財務管理を行うことを特に意図しているという点に特徴がある。すなわち、約10,000人の会員は、地方自治体、公共医療、水道事業、国営事業、公務員、および、ニュータウン、交通機関、大学等の公共団体で働いている。

これには三つの主要な仕事の領域がある。会計部門では、財務諸表の作成や組織の設定する計画に従って財務データをモニタリングするのに必要な基本的な会計に関する日常業務を身につける必要がある。しかし、広くコンピュータが用いられるので、決まり切った日常業務のかなりの部分を省いてくれる。予算、予測、評価部門では、歳入、資本予測、歳出、長期財務計画、計画の評価等を取り扱う。監査部門は、組織の資源利用の有効性を測定して報告する。

1990年1月から導入された教育訓練要綱は11の学習単位で構成されている。すなわち、会計学の理論と実務、情報システムと管理、意思決定のための会計、公共政策と財務環境、上級会計学および税制、監査、組織論、企業財務管理、財務管理ケーススタディー、経営実務、および研究課題である。純理論的な分野よりも実践的で社会的な分野が強調される。例えば、プライベート・セクターとパブリック・セクターが別々の学習単位で取り扱われているのではなくて、一つ一つの学習単位の中で比較対照されているのである。同様に、情報テクノロジーと分析的技術が実際に各学習単位の一部を構成している。

新しいシラバスは、公共サービスに商業的要素が増えつつあることと、これまではプライベート・セクターと関連していた技術に対する需要が高まりつつあることを反映している。¹¹

(3) 第3グループ

⑦会計技術専門家協会 (The Association of Accounting Technicians)

会計技術専門家協会（略称 AAT）の会員は会計士とは名乗らないが、1990年現在

10 *Ibid.*, pp.17-19.

11 *Ibid.*, pp.20-21.

約15,000名の会員を擁している。これは、4つの指導的会計士協会、すなわち、公認会計士勅許協会、管理会計士勅許協会、財政会計士勅許協会、イングランド・ウェールズ勅許会計士協会によって1981年に設立され、1986年からはスコットランド勅許会計士協会も後援団体に加わった、財務や会計を専門として仕事をしているが正式に会計士の資格を取ろうとは考えていない事務職員に、一定の資格や地位、アイデンティティ¹²を与えることを目的にした協会である。

AATの資格は、予算作成や原価計算を含む財務データの作成、財務会計、管理会計、信用管理、監査等の業務を商工業界や公共部門、あるいは会計事務所で行っているすべての財務や会計のスタッフを対象にしているとともに、ほとんどの会計士協会¹³で訓練を受けるための要件や試験免除を受けるものとして認定されている。対象としている領域は幅広いが、性格的には日本商工会議所の簿記試験に似ているように感じられた。

AATの会員になるためには、二つの異なる要件を満たさなければならない。AATの資格試験に合格するか、試験免除を受けて、3年間の会計実務経験を通じてこの学力を裏書きするかのどちらかであるが、ほとんどの受験生はAATの試験を受験するために特別に設けられたコースを受講する。このコースは、イギリス全国の成人教育カレッジか高等教育カレッジで受講することができる。もう一つの手段は、ビジネスか財務に関するBTECのNational CertificateかHigher National Certificateを取得することである。これによって、AATの一次試験と二次試験の免除を受けることができ、最終試験のための定時制の1年間の勉強をすることになる。(イギリスの教育制度はわが国のそれと非常に異なっているので単純に比較することは困難であるとともに、またその必要もないかもしれないが、要するに、高等教育を受けないまま実務についた人たちでも、働きながら取得することが可能な資格なのである。)

⑧会社資金管理者協会 (The Association of Corporate Treasurers)

これもまた、会計技術専門家協会と同様に会員は会計士と名乗らないが、専門領域は非常に似ているとともに、比較的最近(1979年)設立された割には有力な団体である。会社の資金管理には、あらゆる金融市場との対応、通貨とキャッシュフローの管

12 The Association of Accounting Technicians, *Annual Report & Accounts*, 1990.

13 AATの教育部門担当者 N. Keys氏に対するインタビューより。

理、事業のための資金調達、および、企業金融のための複雑な戦略、方策、手続が含まれる。すべての会社が何らかの資金管理を必要としており、ほとんどの大会社には現在独立した資金管理部門がある。資金管理者という専門の職業は、金融市場における大きな変化を背景として生まれた。その変化は、最近の技術革新の進展、コミュニケーションの改善、多国籍企業の発達、変化の激しい外国為替や利子率を反映している。

合格者には会社資金管理専攻修了証書が与えられる。この修了証書を有し、かつ必要の実務経験を積んだ人は正会員となることができる。

志願者は18歳以上で、協会の認定した大学を卒業しているか、あるいは CNAA の資格を取得しているか、当協会の認定した専門職団体の会員であるか、数学と英語を含む5科目について二つの A レベルと三つの GCSE を取得しているか、BTEC の National award もしくは Higher National award を取得していなければならない。(中・高年の志願者は、会社の資金管理に関する経験が認められれば会員となれる場合もある。)

試験は2段階に分かれているが、両方ともイギリスの法律と実務に基づいている。第一次は関連知識試験で、1科目3時間の試験を五つ受ける。その科目は、会社法、財政学、会計学、税制、銀行もしくは数量研究に関連した法律である。第二次は会社資金管理試験で、第一次と同様に1科目3時間の試験を五つ受ける。その科目は、企業金融、流動資金管理と銀行システム、資本市場と資金調達、通貨管理、資金管理である。

第一次試験の準備は、カレッジで全日制か定時制のコースを取るか、あるいは通信教育を受けることによって行う。第二次試験を受ける前に、受験者は協会の通信教育を受けなければならないが、それには1週間の夏期集中講座か4月に行われる週末講座が含まれる。

ACCA, CIMA, CIPFA, ICAEW, ICAI, ICAS, および The Institute of Chartered Secretaries and Administrators の試験に合格している人は第一次試験が免除されるが、第二次試験の免除はない。

⑨原価・管理職会計士協会(The Association of Cost and Executive Accountants)

この協会は特に小企業と保険業に関係の深い人達が会員となっている。

入会試験は他の会計士の資格と同様の要件に従っている。準会員となるための第1次から3次までの試験は普通の学士号のレベルであるが、正会員となるための試験はイギリスの大学の優等学位の基準に匹敵する。当協会の認定した専門的資格、BTECの Higher Certificates、学士号によっては科目ごとに試験免除がある。

正会員試験は最終的な能力試験で、免除規程はない。管理職会計士は直面する実際問題を解決するために自分の専門的知識を用いて説明ないしは話し合いがでなければならぬ。意思決定を行う他人を補佐するために情報を提供するというよりはむしろ、幅広いレベルで戦略的意思決定や政策実行を自らが積極的に担当することを期待されている。シラバスはこの目的で設定されており、試験の採点にあたって、協会の担当者は、財務管理能力や財務政策遂行能力を判定するだけでなく、論述の明快さ、表現力、論理性と、それに加えて簡潔明瞭な言葉が用いられていることを勘案する。¹⁵

⑩財務会計士協会 (The Institute of Financial Accountants)

この協会は1916年に法人となった、簿記から発展した内部会計担当者を代表する最初の会計士協会である。当協会を構成しているもう一つの団体である国際簿記担当者協会 (The International Association of Bookkeepers) は3段階の簿記の試験に合格した経理担当者の職業団体である。

当協会の入会資格は、四つの GCSE (英語、数学・統計学・計算等の数量科目、およびその他の理論科目を2科目。あるいはそれと同等の教育資格)か、適当な2年間の職業経験を有する21歳以上の人となっているとともに、その受験勉強には全日制のコースは必要ではなく、実務を行いながら定時制かデイ・リリース研修休暇制度を使って勉強することを推奨している。¹⁶したがって、試験がレベル1 (会計学1、法学入門、企業経営論1、経済学)、レベル2 (会計学2、商法、企業経営論2、原価計算論)、レベル3 (会計学3、会社法実務、労務管理論、税務論)、レベル4 (上級財務会計論、経営技術職能論、財務情報システム論、関連事例研究)の4段階に分かれている割には、比較的狙いやすい資格のように感じられる。

⑪会社会計士協会 (The Institute of Company Accountants)

この協会は長い歴史を有する三つの商工業界の会計士協会が1974年に合併してできた会社商業界会計士協会を母体になっている。1981年には英国会計士監査人協会 (The

15 Taylor, *op. cit.*, p. 30.

16 *Ibid.*, pp. 30-31.

British Association of Accountants and Auditors) の会員もこの協会に加わり、1990年には現在の名称に改称した。協会のほとんどは、国の内外で、産業界、商業界、教育界、官界等の多方面で雇用されている。開業している会員は登録会計士 (Registered Accountants) と呼ばれ、小企業の会計に関するニーズに応えることを専門にしている。志願者は大学を卒業しているか、もしくは英語と数学の A レベルを含む五つの GCSE を取得しているか、それらと同等の資格を有していなければならない。同等の資格には、企業と金融、流通論、公共行政に関する BTEC の National Certificate/Diploma もしくは同じ科目の BTEC の Higher National Certificate/Diploma を取得していることが含まれる。

試験は 4 段階、16 科目について行われ、最初の 2 段階については全科目もしくは一部科目について試験免除がある。また、準会員資格を得る前に 3 年間の適当な実務経験が必要とされている。¹⁷

⑬ 法律事務所出納担当者協会 (The Institute of Legal Cashiers)

当協会は事務弁護士事務所の会計部門で働いている人々を代表している。入会資格は 16 歳からである。プリストル・ポリテクニクの協力のもと、通信教育コースが開設され、ディプロマと準会員試験への道が開かれている。第 1 回目の試験は 1990 年 6 月に実施。¹⁸

III 合格体験談

各会計士協会の特徴をさらにつかむために、ここでは、有力な 6 団体と、そのうちの 5 団体が後援している会計技術者協会について、その志望者による合格体験談を紹介してみよう。¹⁹ 各会計士協会の特徴を示していると思われる語句はゴチックとした。

① イングランド・ウェールズ勅許会計士協会 (ICAEW)

ビジネスウーマンになりたかったキャロルは A レベルの科目中の数学と経済学でセント大学の会計学専攻学士号 (BA Honours in Accountancy) コースに願書を提出した。卒業後は中規模の会計事務所に入り、5 年後の現在は金融機関のグループの一部

17 The Institute of Company Accountants, *Entrance Syllabus*, 1991.

18 Taylor, *op. cit.*, p. 55.

19 *Ibid.*, pp. 14-29.

である大会計事務所のアシスタント・マネージャーである。

大学卒業後、ある会計事務所に就職しましたが、それはその事務所の温かい雰囲気が入ったからです。訓練契約期間内に勅許会計士協会の試験勉強をしなければならないことはもちろん承知していましたが、会計学が試験免除となり、また会計事務所がいろいろと便宜を図ってくれたにも関わらず、それはしんどい3年間でした。

私は一番最初から監査チームの一員となりました。最初は、クライアントの事務所で現金と銀行の残高をチェックするという全く決まり切った仕事ばかりしていましたが、それはビジネスを知る上で最善の方法でした。クライアントはバプテスト伝道協会でした。封筒の中にヨレヨレの10ポンド紙幣だけが入って届くことがありましたが、匿名の寄付だろうと想像して適切な欄に記入しました。

最初の試験に合格して間もなく、シニアIIIという級に昇格しました。仕事はより複雑で難しいものになりましたが、理論と実務が相互に助け合うということで、常に試験勉強に有益な関連を持っていました。3年目の最後に最終試験に合格し、間もなくシニアIIに昇格しました。監査以外の様々な仕事も担当しましたが、その中には保険調査や指導センターで新人の志願者に予備コースを7週間教えたことも含まれています。

やがてシニアIに昇格し、Business Services Groupの管理職となりましたが、これによって、その会計事務所がクライアントに提供できるオールラウンドなサービスを深く知ることができました。

現在、私は監査に関する全責任を負っている合計60社のクライアントのポートフォリオを担当するようになりました。プロジェクトは様々でした。会計本部をイギリスに持っている外国の組織は、その会計システムの調査を求めてきました。説明のつかない巨額の為替手形を背負いこんだのです。会計記録の保管されている3カ所を往査して、そこの人々と話しをし、そのシステムを詳細に調査し、消えた金額を算定しなければなりません。このすべてが終了後、私はクライアントに提出する報告書を纏めました。

経営コンサルタント業務にサービスを拡大することは我々のビジネスの成長部門であり、私はこれに非常に大きな関心を持っています。やがて現在のクライアントと将来のクライアントに自社を売り込む地位についていると感じるようになりました。ク

ライアントと会う時はいつでも、現在の雰囲気と将来のニーズについてのヒントがないか耳をそばだてていました。

資格を取って2年ほどして、事務所を移ることを考える潮時ではないかと感じるようになりました。心にこのことがあったので、**ビッグ8事務所**に応募して採用されました。現在はそこでアシスタント・マネージャーとして働いています。次にどんなことを選ぼうとも、私の背後に、売り物になる資格と十分なビジネス経験の両方を備えていることを知っています。

②公認会計士勅許協会 (ACCA)

リンダはエセックス・グラマースクールで英語と経済学のAレベルを取得してすぐに就職し、現在はブリストルの大きな建設・小売グループで働いている。

数学のOレベルに合格はしましたが、数学が大得意というわけではありませんでした。しかし、これは会計士についての謬見の一つです。つまり、会計士は数字を扱うだけではないのです。会計士になろうと思ったのは多分17歳の時だったと思います。学校の先生は私を先生にならせようとしたのですが、私自身は先生にはなりたくありませんでしたし、大学にも進学したくありませんでした。しかし、専門職の資格を取りたかったし、面白い仕事にもつきたかったのです。会計士は相当柔軟性のある仕事に思えました。そして現在、それを私自身の目で確認しています。というのは、必ずしも財務を担当していない取締役や上級管理職の人達ですら会計士の訓練を受けているからです。

そこで、いくつかの資格に当たってみました。CIPFA は専門領域が狭いように思えたので対象から外すことに決めました。勅許会計士の面接は2回受けましたが、どちらかと言えば**因襲的**で自分に向いていないと分かりました。公認会計士について調べた結果、態度決定を先に延ばすことができると分かりましたが、それは私にとって好都合に思えました。そこで8通ほどの手紙を書いて、ブリストルで全国規模の製造会社に就職しました。そこでほぼ1年働きましたが、全然楽しくありませんでした。主としてただの事務の仕事だったので、そこをやめて現在の企業に入りました。

簿記、比率分析、予算作成等の仕事から始めて、約18カ月後に昇進し、現在も本部に属しています。そこでは損益計算書と貸借対照表についての仕事をして、公表財務諸表に関する基礎的な仕事を、もちろん監督者の下でたくさんこなしました。約18カ

月後、財務計画部に移りました。そこでの主たる仕事は、各部門の作成する予算を再検討したりキャッシュフローを管理したりすることでした。その部門には合計3年ほど所属し、その間に税務の仕事も含むようになりました。税務というのは会計と大いに関係があるのです。現在は、内部監査部門で働いています。

我々は支店に出向いて、標準的手続を遵守しているかどうか、つまりすべての資産を記録し貸金を正しく支払っているかどうかを監査しています。我々の仕事はでき上がった監査計画に基づいていますが、それでも監査の結果を解釈するにはイニシアティブを発揮することが必要です。報告書や勧告書をタイプして配布する前に、監査責任者と十分に検討します。

支店はそれぞれ似通っていますが、一度監査を行えばどうすれば良いかが分かりますので、その繰り返しには時には少し退屈なこともあります。しかし、支店によって少しずつ扱うべき注意が違うので変化も常にあります。この種の仕事は長くやりすぎると退屈になる恐れがあると思いますが、幸い、我々は仕事を分担してそれぞれ違うことを処理しています。ある週には足場材料を扱う支店を監査し、次の週はガラス部門を監査するという具合です。これはいろいろな業務を行っている大会社で働いている利点です。

処理するのがもっとも難しい仕事の一つは、しばしば違った人達から対立する意見や矛盾した説明を受けるということです。特に彼らの間に上下関係がある場合には、それを十分適切に処理しなければなりません。

当社のような大企業の場合には、非常に早く成長することが可能です。というのは、管理職があなたを移動させてくれて多くの経験を積ませてくれるからです。自分の一番良いところを引き出したいと管理職が考えているということが感じられるので、あなたもベストを尽くしたいと思うようになります。移動といっても、昇進の機会はそのんなに多くなくて、しばしば横の移動ですが、それでも、非常に幅広い経験を積んでいると感ずることができます。

私はこの仕事のバラエティーが気に入っています。いつでも外回りをして、違った人達に会います。トラックの運転手の次は常務取締役という具合です。

良い会計士になるためには、多くの事柄に関心を持つ必要があります。実際、あなたの回りで起こるすべてのことに関心を持つ必要があります。試験に必要なのは技術的な知識だけではありません。場合によっては、書類の中で読んだ時には特に関係が

ないと思えた事柄が、その後仕事の中で問題として持ち上がることもあります。

努力が必要です。しんどい仕事です。事実、私は1回目の試験に失敗しましたが、それはAレベルの試験と同程度だと考えていたからです。それ専門に勉強しているのではないということを勘定に入れていませんでした。一週間に一度、夜に時間を見つけて勉強していたのです。失敗したことは大変なショックでした。しかし、ショックが大きかったからこそ、勉強を続けようと決心しました。しなければならないことがたくさんあるということには同情しますが、受験者が途中で諦めてしまうのは大変恥ずかしいことだと思います。やりがいはあります。金銭的な見返りも一つのプラスですが、それだけではありません。この仕事は融通がきくので、女性にとって良い仕事でもあります。資格を取ればコンサルタント業務や自宅での仕事ができるので、仕事と家庭を両立させようと思う場合、訓練は無駄にはなりません。また、公認会計士という専門的職業は、女性がどれだけ多くのものを提供でき、役に立つかを理解し始めています。

⑧スコットランド勅許会計士協会 (ICAS)

クリストファーはスコットランド人で、ロンドンで生物学の勉強をしようと決心したが、それは友達全部がスコットランドの大学に進学するのでちょっと違ったことをしたかったからである。卒業後、アバディーンで会計学の大学院ディプロマコースの勉強をし、現在はロンドンの大会計事務所 ICAS の資格を取るための訓練を受けている最中である。

スコットランド人がロンドンで個人的名声を上げようなんて考えるのは全く珍しいことでしょう。私は現在3年目で、CA（スコットランド勅許会計士協会の会員の肩書）を取ろうと考えているたった3人のうちの一人です。私は、生物学を専攻した大学生の唯一の選択肢である教育研究よりももっとやりがいのある何か他のことをしたくて CA を選択しました。私は銀行等金融方面に進みたいと強く願っており、金融の中心地としてのロンドンが好ましい訓練の機会を私に与えてくれるだろうと考えました。当事務所のような大規模な事務所が CA 志望者の希望すべてに合っていないということは分かっていたのですが、スコットランドとの関係を考えてこの事務所に入りました。大会計事務所のクライアントは変化に富んでいるものの、訓練の深さは同程度ではありません。伝統的な会計士になりたい人、つまり税務や財務記録をしたい

人は、小さな組織を選んだ方が良いかも知れません。

会計士になるのにこのルートを選んだのは、訓練が一人一人の個人に結びついていると思われたためです。普通、指導員は実務家なので実際社会と密接な関係を持っています。シラバスも社会の変化に直ちに反応します。私はブロック・リリースをエジンバラで受けましたが、それは私が勉強を始めた頃はロンドンで受けることができなかったからです。今なら、スコットランド人のCA志願者がロンドンで訓練を受けても何ら不利ではないと思います。事務所は志願者が試験に合格することに非常に熱心なので、随分援助してくれています。人事部は6カ月ごとに志願者と面接して、我々が道を間違ったり困ったりしていないことを確かめてくれます。

私が働いている部門はシティーにある当事務所の主要な40の監査部門の一つです。私は現在中規模の銀行の監査を担当するシニアです。その仕事は、パートナーやマネージャーがクライアントへの報告予定に求めていることと関係があり、クライアントの内部監査人と連携をとっています。

私は早く資格を取ろうとする志願者間の競争が非常に激しいと感じています。しかし、これはある程度「ロンドン効果」のせいではないかと思えます。確かに孤立しているのではないかと感じる危険性がありますが、協会が大いに支えとなってくれることを知りました。協会が会計事務所間や従業員間の問題に凄く気を配ってくれていることも感じられます。スコットランド人はしばしば、より慎重で、行動が派手ではなく、そして恐らく分別がきくと思われることがあります。1987年の株式市場の崩壊の際にイングランドよりもスコットランドの方が被害が少なかったことがそれを物語っているでしょう。

④アイルランド勅許会計士協会 (ICAI)

デーヴィッドはダブリンにある大規模な国際会計事務所で監査人として働いている。ダブリンのユニヴァーシティ・カレッジで商学士号 (BComm) と経営学修士号 (Master of Business Studies) を取得した後、3年間の訓練契約をちょうど終えたところである。

私はどちらかというと成り行き任せて勅許会計士の道を選びました。というのは、他の会計士の資格を持った会計士がどのような仕事をしているのかよく知りませんでしたし、大学へは勅許会計士の事務所しかリクルートに来ませんでしたから、それは

目の前の選択だったのです。家族の勧めも少しありました。大学での専攻にも係わらず、仕事を始めた頃には 勅許会計士がどのようなことをするのかあまり知りませんでした。例えば、監査とはどういうことをするのか説明できませんでした。もしもう一度チャンスがあったなら、大学で私が専攻したことから考えて管理会計の仕事を選択するのではないかと思います。産業界に進もうと考えている人にとっては、管理会計の資格の方が将来的な可能性は大きいのではないかと思います。出世街道も早く歩けるでしょう。

勅許会計士の資格は、今でも、将来を見通すというよりは過去を詳細に吟味する監査を行う資格だと思われがちです。実際、監査人が関心を持っているのは過去に何が起こったかであって、将来計画でもキャッシュフローでも予算編成でもないのです。

私の仕事の良い点はクライアントの多様性です。私は、明けても暮れても同じオフィスに出入りするというのは御免こうむりたい性格です。数週間ごとにどこかへ移動するので、違った環境で違った人々に出会うことができます。会社勤めをしていたのでは、そのように幅広い人々と出会うことはないでしょう。もっとも、3年たつと常に新しい人々と出会うことにむしろ飽きて来るかも知れませんが、このように大きな事務所だとオフィスの中で緊密な人間関係を作ることは難しいかも知れませんが。

どこへ行っても、最初は信用されませんが、監査人というものにはたくさんの作り話があるので、人々を説得して心を開いてあなたを受け入れさせるには少し時間がかかります。人間について実に多くのことを学びます。そして、しばしば、数字そのものから知ることよりも多くのことを、その組織の人々から知ることができます。先ず最初に、彼らにあなたを尊敬させなければなりません。冗談を言い過ぎたり馴れ馴れしくし過ぎてはいけません。最初の日から、あなたが有能な人間で、誰もあなたの目を誤魔化すことができないということを示さないといけません。そのうちにリラックスできるようになります。彼らの信頼感を勝ち得たら、どんなに小さな情報でも手に入れることができます。私が監査に行ったある企業では、常務取締役が大変難しい人で、経理担当者と接触させてくれませんでした。パブで一人の男の人と話しをし、その人から得た小さなヒントがその企業についてかなりのことを教えてくれました。これは実際あることの調査に結びつきました。

人々とゆっくり話しをすることが大変役に立つということを学びました。頻繁にあることですが、どのようなことが起こりつつあって、自分の仕事が全体とどのように

係わっているかを説明するのを面倒がる人はいません。しかし、私が一緒に仕事をしている人達は結局人間に対する関心を失ってしまっているように見えます。余りにたくさんの人に会い過ぎたためではないかと思いますが、監査人としては、同時に、いくら人々の助けが必要とは言え、例えばセールスマンがやっているように人々と仲良くすることに頼り過ぎてはいけません。

個人主義の人には勅許会計士にならないよう勧めます。個人主義は好かれていません。勅許会計士というのは詩の朗読会に行くことに夢中になるような人々とは人種が違います。むしろパブで酒を呑んでラグビーやサッカーの話しに興ずる人に近いのです。勅許会計士は規則を守る人達が好きです。

財務の専門家ではない中小会社の経営者に、その会社の財務面で何が起きているのかを説明することには大いに満足感があります。会計士でない人々は、監査費用はお金の無駄遣いだと考えがちです。数千ポンド支払っても受け取るのはたった3段落の文章に過ぎません。でも、クライアントのサービス面は非常に重要です。クライアントとゆらくり話しあう時間があれば、システムの改善を手助けしたり、生じていることをうまくチェックすることができるはずです。もしもクライアントがコンピュータ・システムの導入を考えている場合には、コンピュータに何ができて何ができないかを分析できるように手助けすることが重要です。コンピュータを導入したら、誰かがデータをコンピュータ用に変換することが必要ですが、これには人為的ミスがつきものなので歴大なチェックが必要です。それでコンピュータが必ずしも人員削減に繋がらないのです。つまり、カードをパンチしたり結果をチェックする人々が必要で、これらは手作業なのです。

それぞれの財務管理組織には、請求書を処理したり、計算書を作成したり、書類を扱ったりといった退屈な日常業務を担当する少なくとも5～6人の人々がいることを覚えておかねばなりません。それは私が新コンベヤー・ベルトと呼んでいるものですが、大学にリクルートに来る人はほとんど話さない一面です。つまり、求人活動で話されることと実際の仕事の間にはかなりの開きがあるのです。

実務経験と試験勉強は歩調を合わすべきだという意見には私は賛成しません。試験のための知識を入れることも実務で経験を積むことも必要ですが、必ずしも一緒にする必要はありません。他の専門的職業と同様、会計士も、理解できない言葉で彼らの仕事をうまく隠して表現し、その後、それを説明するのに対価を請求するのです。

⑤管理会計士勅許協会（CIMA）

経営学（Business Studies）で学士号（BA）を取った後、マークは CIMA の訓練計画を実施している企業を捜して、最後に国際的な大出版会社に入社した。彼は現在 27歳で、出版と情報提供を営む、17,000人以上の従業員を抱える大規模な一子会社の財務および総務担当重役である。1987年 5月に最終試験に合格し、遙か上の地位を目指して着実に経験を積み上げつつある。

管理会計士は産業と関係が深いので、この資格を選択したのは自然の成り行きでした。次から次へと監査に歩くというのは魅力的ではありませんでした。私は一つの会社に決めて、それとともに成長したかったのです。CIMA の資格を目指して勉強することはまさにそれでした。勉強の方法としてはデイ・リリースによる研修休暇制度を選択し、復習のための休暇も十分に与えられました。訓練計画は理論と実務が密接に結びついていましたが、理論が実務を補うというものでした。これによって私は勉強の泥沼にはまらなくて済みましたし、実際に勉強していることをさらに理解させてくれました。

訓練に多様性と柔軟性があつたので、私は勉強を楽しみました。私がこれまでに出会ったことのないたくさんの科目があり、法律、税制、マーケティング、経済が新しい認識や思考に目を開かせてくれました。それが経営者の感覚を感じさせてくれたので、私がそれまで出会ったこともない問題を処理する総務部長になった時にはずいぶん助かったのは事実です。

私はちょうど 2年で、すべての学科試験に合格して 3年間の実務経験を終えました。どういうふうに行ったかといいますと、大学での課程に対しては試験免除が与えられ、実務試験にはサンドウィッチ・イヤーを用いました。訓練は包括的なもので、理論と実務経験をミックスするのは刺激的で面白いものでした。猛勉強に対しては、各段階で試験に合格すると給料が上がるという見返りがありました。第 4段階の試験に合格した時には、カンパニー・カーの支給と 40%の昇給がありました。

学科試験にすべて合格し、実務試験も完了した時、ここで私に与えられた素晴らしい訓練のことを考えて、私はこの会社に残ることに決めて、CIMA の会員となることを申し込みました。

勉強している間は、いつになったら学んだことを実際のな用途に使えるのか知れた

く思うものです。しかし、時間がたつて責任がより大きくなると、理論と実務の関連性は明らかになり始めます。

現在では、カー・ラリー、写真、コミュニティーケアといった、仕事以外の関心事に時間を割けるようになりました。10年以内に上級の財務に関する地位か全般経営者の地位についていると予想できます。そうです、訓練のすべてがその甲斐あったと実感しています。

⑥財政会計士勅許協会 (CIPFA)

シェリル・テラーは12のOレベルを取得して1981年にカレッジを卒業した。彼女は Southern Water Authority に見習い会計担当者として働き始め、会計技術専門家の資格を取得してからは、CIPFA の訓練会計士となった。1987年1月に試験に合格し、現在は正式の資格を有している。

Oレベルを12取りましたが、その次に何をするかははっきりしていなかったので、Aレベルの勉強を始めました。そのとき、Southern Water Authority の広告を見かけたので応募することに決めました。ずっと数学が好きで経理畑で働こうと考えていましたので、逃すのが惜しいポストに思えたのです。会計技術専門家になる訓練の機会を提供してくれており、さらに会計士の訓練を受ける可能性もありました。

3年間の会計に関する訓練が会計に関する技能の基礎作りに大いに役立ちました。同時に、通信教育でAレベルの勉強もしました。仕事と2種類の勉強で、暇な時間はほとんどありませんでした。

会計技術専門家の資格を取った後、幸運にも CIPFA 養成のポストを提供されました。それまでの経歴のお陰で、私は基礎コースを取る必要はなく、直接第1次の勉強を始めました。私の訓練はブロック・リリースでした。コースの構成上、私が仕事の上で特定の職務を担当することは困難のように思えたので、その代わりに、私だけの課題を与えられました。それによって、予算の編成とモニタリングに関して様々な経験を積むことができました。

コース全体を楽しんだ一方で、3年目の課題はもちろん一番難しいものでした。職場の指導員が予算編成の批判的検閲という問題を選択する手助けをしてくれましたが、それを纏めて3人の面接担当者の前で発表する準備をしなければなりませんでした。それでも、正直言って、私はその発表と私の仕事を説明する機会を楽しみました。

Southern Water Authority は経営学の補習コースに出させてくれる等、訓練期間を通して私を支援してくれました。1987年1月の試験に合格した際に興奮したのは全国で第4位の優秀賞を貰ったことでした。24歳の今、私は二つの専門的資格を持っていて、それが多様な将来性を約束してくれています。大学に進まないで訓練を受ける利点の一つは、二つの訓練課程を通じて、働きながら勉強する期間を余分に持ったことです。これは大学卒業者では経験することができなかつたらうと思います。

現在は計算技術畑で働いています。業績のモニタリングや、費用勘定、機械設備勘定、車輛運搬具勘定等に基づいて予算の編成をしています。将来はもっと経営管理的役割を果たすようになって、多分会計システムを専門にするだろろうと思います。しかし、今のところは、この6年間で初めて、勉強していないということで幸せです。現在は、仕事専業です。

⑦会計技術者協会（AAT）

サラは6つのGCSEを取得して17歳で高校を卒業して、スタッフフォードの事務所でタイピストとして働き始めた。その後、小規模な建設会社の経理事務員となり、地元のカレッジで定時制のAATコースに出席した。AATの資格を取得して、課長となった。現在22歳の彼女は、以前より大規模な建設会社のコンピュータ・サービス・アシスタントとなっている。

私が幸運だったのは、経理事務員として勤めた建設会社が従業員に教育訓練を受けさせる方針を持っており、カレッジでAATの受験勉強をする費用を負担してくれたことです。最終年度には受験勉強のための休暇さえもくれました。

そのコースで勉強した事柄は、必ずしもその当時の仕事と関連していたわけではありません。勤めていたのは小さな会社だったので、会計はほとんど手書きで処理していましたが、カレッジで勉強したのはコンピュータに基づく教育でした。

特に会計システムに責任を持つコンピュータ・サービス・アシスタントという新しい仕事については、情報システムに関してカレッジで勉強した事柄を役立てており、この会社の内部会計システムの開発を行っています。

IV. むすびにかえて

イギリスの会計士団体の特徴は、

- ① 財務会計や監査を専門とする会計士団体だけでなく、それら以外の領域を専門にしている会計士協会が存在していることに端的に示されているように、内容の多様性を備えているとともに、
- ② 志願者の学力や実務経験に応じてどれかの会員になることを目指すことができるといふ、難易度の多様性も備えているので、個人的背景が非常にバラエティーに富んでいる多様な人々に会計士を目指させるという、言わば裾野を非常に広くする効果をもたらしている。

それに加えて、重要なこととして、

- ③ 各会計士協会が独自のシラバスを用意して自らが会計士を養成するとともに、合否の判定も各会計士協会の責任において行っている。つまり、まさにプライベート・セクターの資格なのであるということが指摘できる。このことにより、各会計士協会によってその内容に差はあるかも知れないが、イギリスの会計士は会計士としてのアイデンティティーを強く共有することとなる。

これらの特徴は、資格試験が非常に難しいとともに、その試験の受験指導を専門学校に任せきっているわが国の公認会計士協会とは実に好対照である。

ところで、イギリスの会計士が共有しているアイデンティティーの中身はどのようなものであろうか。それについては、稿を改めて考察したい。